

Q1

なぜ、IBコースに入ろうと思ったのですか？

- 海外の大学へ進学するのに、一番良いプログラムだと思ったから。
- 自分への挑戦のため。
- IBの説明会の時に、ディスカッションがメインの授業スタイルと知り、今までと違う学び方ができると考えたからです。
- 楽しそうだった。
新しいことに挑戦してみたかった。
- 通常の日本の学校ではあまり学ぶ機会のない知識やスキルを、学生のうちから身につけることができるため、たくさんの葛藤の中で2年間で過ごすことが、自分自身の大きな成長につながった。
- 留学生を受け入れたり、国際的な交流活動が多く、興味を持ったから。

Q2

IBの科目選択をするときの重要なポイントは？

- 自分の将来の夢にあった科目や、好きな科目を選ぶこと。
- 自分がどれだけ好きになれるか。
- 「今を楽しむ」か「将来を楽しむ」か。究極の二択ですが、どっちをとっても、悔いはないと思いますよ！
- 行きたい大学などの条件としっかり照らし合わせる。

Q & A

Q3

IBをやっている楽しいことは？

- 大変なことが多い分、乗り越えた時の達成感がすごいです。また少人数のクラスなので毎日大笑いするくらい仲良くなれて、とっても楽しいです！
- 分析して考えたりしていくうちに、自分の思考がまとまってスッキリした時や、相手に上手く伝えられた時が楽しい。
- マジョリティ(多数派)及び常識とされている事実に対する批判的思考の萌芽。IBの中では普通と思っていたこと、常識だと思っていたことに対して(必要なら)疑問を投げかける機会に多く恵まれています。
- 「楽しい」ときもたくさんありますが、「大変だー!」と思う時間の割合もとても多いです。
- IBで学んだ考え方や知識がつながり、ふとしたときに人生が明るく見えること。
- 自らが主体的に学び他の人と意見を言う機会が多い部分が面白いです。同時に自分自身で選択していくことの大変さも存在します。
- ディスカッションが多いから、いろいろなアイデアを聞くことができ、新しい発見がある。

Q4

これからIBを始めようとしている人へメッセージ

- IBコースは高校生の間から文理問わず深く学ぶことができるので、ぜひ挑戦してみてください。
- 決して「楽しそう」というノリで選択しないでください！自分と正面に向かい合って、熟考して英断を！
- 気合を入れてやればできる！IBは自分の限界を超える良いチャンスです。
- IBについてたくさん調べてみて、本当に自分がやりたいのかをしっかりと検討してみてください。とても良い先生方や学校のサポート・環境があるので安心して世界レベルの学びをすることができます。

Q5

大変に感じる教科はなんですか？

- 「TOK」。知識とは何か？に関連した抽象的な問いに関する答えを自分の考えをまとめて相手に伝えるのが難しい。
- 「Japanese A」。普通科の国語が得意という理由でHL(発展レベル)にしたから、実際は全く別物で、レベルの高さと戦っています。
- 「Japanese A」。これまでの作文は、本の感想文か思ったことを書いていたけど、本の中にある文章を根拠に論じていくから。

Open Campus

開催!!

開催日／9/6[±]・9/20[±]・10/25[±]

オープンキャンパス時、IBコースでは通常の授業内容やディスカッション、プレゼンテーションなどを公開しています。
5月のTOKの公開授業では、与えられた「問い」に対して1人7分ほどのプレゼンテーションを行い、その後発表の内容について質疑応答やディスカッションをしました。
実際にIBカリキュラムの授業を受けるIB生の声を聞くことができたり、IBコースの質問についての個別相談なども行っています。
オープンキャンパスは毎月開催されているので、ぜひお気軽にお申し込みください!



お申し込みはこちらから▶



S N U

Sapporo Nihon Univ.
High School札幌日大高校
国際バカロレアコースIBカフェ
開催!!

開催日／9/6[±] 時間／11:00～13:00
会場／本校N Link 定員／30名

IBカフェへのお申し込みはこちらから▶



札幌日大高校のIB(国際バカロレア)コースの教育内容をご説明いたします。
当日は「English B」の授業体験もありますので、お気軽にご参加ください。

Schedule

- | | |
|----------|-----------------|
| ● 11:00～ | 開始 |
| ● 11:15～ | 授業見学「TOK」 |
| ● 11:50～ | 授業体験「ENGLISH B」 |

※駐車場は本校敷地内を利用可能です。お越しの際は、N Link入り口からお入りください。

本校IBコースの魅力を存分に体験してください



学校法人 札幌日本大学学園 札幌日本大学高等学校

お問い合わせ先／札幌日本大学高等学校 広報募集本部 TEL.011-375-2611 FAX.011-375-3305 詳しくは裏面をご覧ください。



Think globally, Act locally.
Get out from your comfort zone.

札幌日大高校の 国際バカロレアコース

国際バカロレアコースは、IB機構から提供される世界共通のカリキュラムを履修し、
IBのDP※1と日本の高卒資格の両方を持って卒業することができます。
IB生として**世界中の大学を受験**することと、
日本の高校生として**国内の大学を受験することの両方が可能**※2になり、
進学先の選択肢が広がります。

※1 本校で行われるのは日本語DP(デュアルランゲージDP)と呼ばれるもので、2科目以上を英語で履修します。
※2 出席や成績などの要件を満たした場合になります。



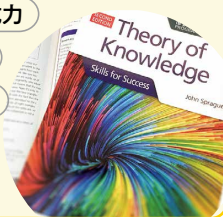
IB(国際バカロレア)とは？

国際バカロレア機構(International Baccalaureate Organization)は全世界共通の大学入学資格を与えることに加え、世界中どこへ行っても通用する人材の育成を目的としており、「全人教育」を大きな特徴のひとつに掲げています。1968年にスイスで設立されて以来、世界中でその教育の質の高さが認められています。



IBで学べること

- プレゼンテーション力
- ディスカッション力
- コミュニケーション力
- 論の構成力
- 記述力
- 自己/時間管理能力
- 論理的思考力
- 問題解決能力
- 分析力
- 批判的思考力



IBコースの学びのPoint

- 1 授業を学ぶ主な言語は日本語で2科目以上を英語で学ぶ**
科目によって日本語、英語が分けられます。決められた科目の中から選択し、履修することができます。
- 2 探究的に学ぶ世界共通のカリキュラム**
3つのコア(CAS・TOK・EE)に基づいた6分野の学習科目を履修します。
- 3 IBディプロマと日本の高校卒業資格の両方を得られるダブルディグリー制度**
日本の大学はもちろん、世界の大学への可能性も広がります。
- 4 英語ネイティブ教員が多数在籍**

本校は、英語ネイティブ教員7名が在籍し、国際教育をバックアップしています。



3年間のSchedule

1年生1月からDP※の授業を開始!

※DP(Diploma Programme)・・・所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められる大学受験資格(国際バカロレア資格)が取得可能なプログラムです。

1年生	4月	入学式	5月	実力確認テスト、遠足
	6月	前期中間考査		
	7月	桜虹祭(学校祭)	9月	前期末考査
	10月	スポーツフェスティバル		
2年生	11月	後期中間考査	1月	英検、DP※ 開始
	5月	遠足	7月	桜虹祭(学校祭)
	9月	前期末考査(この試験からIB試験のスタイルで行われる)		
	10月	スポーツフェスティバル		
3年生	3月	学年末考査		
	5月	遠足		
	7月	Mock Exam(2週間程度)		
	10~11月	IB Final Exam(3週間程度)		
	12~2月	修学旅行	3月	卒業式

IBコースに入る流れ

- ①国際バカロレアコースで受験をし、合格する
- ②1年次の5月に実施される実力確認テストに合格する
- ③以上の2つの合格が必要になります



開講科目

すべての開講科目のうち
3科目を**SL(Standard Level)**、
3科目を**HL(Higher Level)**で履修します。
●「English B」と「Visual Arts」と「Mathematics」を英語で学べます。

English A(英語)	Physics Chemistry Biology(日本語)
Japanese A(日本語)	Mathematics(日本語 & 英語)
English B(英語)	Visual Arts(英語)
ESS(英語)	History(日本語)

授業紹介 数学編

授業は基本的に、先生のスライドをもとに進んでいきます。ただ、ほかのコースとは違い、ペアやグループで一緒に問題を解いたりもします。また、問題によっては計算機を使って問題を解くことができます。これは本番のIBの試験でも同じです。本番で公式集を見ることができるようIB Mathの特徴です。すべての公式ではありませんが大抵の公式は覚えなくても公式集を見て解くことができます。

「ロガリズム・トレジャー・ハント」などのゲームを学校全体を使って行うこともあります。問題がある場所に進み、解答後そこに入っているヒントをもとに次の問題がある場所にどんどん進んでいくゲームです。チームで戦い、互いに教えあって取り組むため、問題を楽しんで解くことができます。IBのMathは日本の進み方と大変違うため、慣れるのに時間がかかるかもしれませんが、数学が好きな人にとっては深く学べる教科だと思います。また、数学が苦手な人でも楽しんで授業を受けることができます。ぜひ、授業を体験してみてください。



計算機を使うことも!

こんな活動
しています!

イベント・活動実績

いろいろな活動があるよ!



サステナブル・ブランド(SB)国際会議への参加

プレゼンコンテスト アジア太平洋地域大会

OTIS Worldwide Corporationが主催する高校生向けのプレゼンテーションコンテスト「Made to Move Communities™」のアジア太平洋地域大会で、本校のチームが特別賞を受賞しました。参加チームは数か月間にわたってOTISの社員からアドバイスを受け、AI技術を活用して、コミュニティでのインクルーシブなモビリティを実現するソリューションの構築に取り組みしました。



第12回高校生ビジネスプラン・グランプリ

「第12回ビジネスプラン・グランプリ」において、IBコースの1年生6名によるグループが全国ベスト20に相当するセミファイナリスト賞を受賞しました。ホワイトボード用の三色マーカーの製造・販売を提案したプランで、設計や原価計算など、実際に販売することを想定した点が評価されたようです。



留学生との交流

札幌日大高校は、国際交流に力を入れています。本校に訪れた留学生と交流する機会も多くあります。

Haileybury Rendall School(オーストラリア・中国)

2024年12月8日から14日間、オーストラリアと中国の姉妹校であるヘイルバリー・カレッジの生徒28名が来校しました。IB生との交流の他、札幌市内の観光や茶道体験などを行いました。



仁川科学芸術英才学校(韓国)

2024年9月11日から3日間、韓国にある姉妹校の仁川科学芸術英才学校(IASA)の生徒15名が来校しました。IASAの生徒はIBコースの授業に1時間参加し、その後北海道大学や札幌市青少年科学館を訪れました。



Rajuk Uttara Model College(バングラデシュ)

2024年2月2日から7日間、5名の生徒がバングラデシュ(Rajuk Uttara Model College)から来校しました。交流会ではバングラデシュの歌や踊りを披露していただきました。

